

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年 4月27日現在

機関番号：37604

研究種目：基盤研究 C

研究期間：2009～2011

課題番号：21500531

研究課題名（和文）高齢者の医療・介護経費削減が可能な介護技術としての園芸療法実践マニュアルの作成

研究課題名（英文）Studies on making of the horticultural therapy practice manual as the care technique that medical care, the care cost reduction of the elderly person in Japan

研究代表者

小浦 誠吾 (KOURA SEIGO)

九州保健福祉大学・保健科学部・教授

研究者番号：90310044

研究成果の概要（和文）：一般に園芸療法は、様々な効用があるとされており、肉体的および精神的な健康増進のために使われる非薬物療法であると認識されている。園芸療法プログラムのいろいろな研究は、精神面での研究もおこなわれており、うつや統合失調症などの苦痛に対しても、良好な影響を示す。高齢者や地域社会にとって園芸活動に関わることは、心の安定性を改善し、積極的な行動を促す。本研究により園芸療法の多様な効果を検証し、その効用を総合的に図式化したことで、関わる誰もが笑顔で幸福になり行政の経費節減も可能な介護技術になることが示された。

研究成果の概要（英文）：Generally, horticultural therapy is a non-pharmacological therapy used for a number of physical and mental health outcomes. Various studies of horticultural therapy programs have demonstrated the positive effects on schizophrenic behavior and those suffering from depression. For elderly persons and communities, engaging in horticultural activities may help to improve the stability of the mind and generally facilitate a much broader and a more positive attitude. It was shown to be the care technique that an expense could reduce by it schematized an effect of the horticultural therapy, and having thought generally or healthy increase activity.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	2,300,000	690,000	2,990,000
2010年度	600,000	180,000	780,000
2011年度	500,000	150,000	650,000
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：人間医工学・リハビリテーション科学，福祉工学

キーワード：園芸療法，マニュアル，医療・介護経費

1. 研究開始当初の背景

園芸療法を医療・保健・福祉分野へ取り入れようとする動きは、アメリカで先行されており、日本においても AHTA（アメリ

カ園芸療法協会）の資格認定基準を参考にした資格制度が 2006 年に人間・植物関係学会が発足し、2008 年度同学会から日本園芸療法学会が独立した。日本における調査

研究は、東京農業大学の松尾英輔教授らが1980年頃から開始し、資料としての充実はなされている。しかしながら、本格的な実践はアメリカで研修を受けてきた数名の女性が任意に進めていたため、学術的な進歩は早いとは言い難い状況であった。

そこで我々は、1998年から高齢者福祉施設（特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービスセンター、デイケアセンターなど）、精神科病院、発達障害児施設、知的障害者厚生施設および知的障害者授産施設など多分野で実践活動を行なっている。それら関わった全ての病院や施設において、開始当初から早期に対象者の潜在能力を無理なく引き出すことに成功した（小浦ら：高齢の脳梗塞患者への園芸療法の実践事例 人間植物関係学会誌 1（1）25-27 2001）。また、対象者だけでなく、関わるボランティアなど全ての人々に好影響があることを初めて具体的な報告を行った（小浦ら：老人福祉施設において園芸療法を行った大学生の意識調査 人間植物関係学会誌 2（1）12-16 2002）。

2. 研究の目的

本格的な介護技術としての園芸療法実践マニュアルを作成し、専門職が多岐に渡る園芸療法の効用を理解したうえで実践することで、関わる全ての人々が精神的、身体的、社会的および知的（知識、創造力など）効用を受け取ることができ、結果として自治体および高齢者自身の医療・保健・福祉面の経費を削減することを目指したい。

3. 研究の方法

療法の効果を明確に示すには、立証データ（エビデンス）の提示が必要である。そこで、長期にわたってデータ収集が可能な高齢者福祉施設の協力を頂き、園芸療法の

精神的、社会的、身体的効用および QOL の向上の有無を検討すると共に、介入前後のバイタルサインの推移+食事の残量+排泄状況などの生活データの比較検討を行う。最終的には、コンピュータソフトなどを活用し、園芸療法の導入意義が明確なマッピングによるマニュアル作成に取り組む。

4. 研究成果

視覚的に理解できやすいマッピングに成功し、基礎データおよび客観データの蓄積をもとにした、高齢者福祉施設における介護技術としての園芸療法実践の多面的な有用性をわかりやすく示すことができた。この研究成果により、理解が困難であった園芸療法の有用性やリスクを視覚に訴えることが容易な図式化を可能となり、期待される地域全体への好影響の可能性は多岐にわたっていることが明確となった。全ての効用は単独で広がるものではなく、他の要素と関係を有しながら広がっていくことが明示できたことで、人間と植物の関係の有効活用が地域全体に対して多面的な効用があることも明らかとなった。



僅かなヒントを生かす治療手段としての園芸療法



高齢者の医療・介護経費節減が可能な園芸療法マップ

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 7 件)

- ① 小浦誠吾・押川武志・小川敬之・山岸主門. 園芸療法模擬活動による五感の刺激に関する研究. 日本園芸療法学会誌. 第 2 巻. 2010. 23-27.
- ② S. Koura, T. Oshikawa, N. Ogawa, S.M. Snyder, M. Nagatomo and C. Nishikawa. Utilization of Horticultural Therapy for Elderly Persons in the Urban Environment. ISHS Acta Hort. 2nd International Conference on Landscape and Urban Horticulture. Bologna (Italy), ISHS Acta Horticulturae 881. 2010. 11. 865-868.
- ③ N. Ogawa, S. Koura, T. Oshikawa and S.M. Snyder. Studies on Making Community Paces with Flowers made from PET-Bottles. ISHS Acta Hort. 2nd International Conference on Landscape and Urban Horticulture. Bologna (Italy), ISHS Acta Horticulturae 881. 2010. 869-872.
- ④ T. Oshikawa, S. Koura, N. Ogawa and H. Hirose. Problems associated with wheelchair seating during horticultural therapy. 2010 International People Plant Symposium (10th IPPS) and Canada Horticultural Therapy Association Annual Council.

Association Annual Council. Nova Scotia (Canada), August 05-09, 2010. 2010.11 accept. 2012.4 In press

- ⑤ Seigo Koura, Mutsuhide Tanaka, Tohru Sonoda, Steven M. Snyder, Noriyuki Ogawa and Takeshi Oshikawa. An Initial Study of the Physical and Psychological Effects of Meaningful Horticultural-related Activities with Elderly Persons in Japan, 2010 International People Plant Symposium (10th IPPS) and Canada Horticultural Therapy Association Annual Council. Nova Scotia (Canada), August 05-09, 2010. 2010.11 accept. 2011.6 In press
- ⑥ Seigo Koura. The Introduction of the Japanese Horticultural Therapy Association. The status of horticultural therapy around the world: practice, research, education - 2010 International People Plant Symposium (10th IPPS) and Canada Horticultural Therapy Association (CHTA) Annual Council. Nova Scotia (Canada), August 05-09, 2010. accept. 2012.4 In press
- ⑦ S. Koura, H. Migita, T. Oshikawa and N. Ogawa. Effects of aromatherapy on Horticultural Therapy for Elderly Persons. International symposium on Medicinal and Aromatic Plants. ISHS. Chiang Mai, Thailand, Nov. 2011, 2012.4 received

[学会発表] (計 15 件)

- ① 園芸学会 24 年度春季大会. 2012 年 3 月 31 日. 大阪. 高齢者の医療・介護経費削減が可能な介護技術としての園芸療法. 小浦誠吾・西川千穂子・東健太郎・稲垣智祐・小川敬之・押川武志. 園芸学

- 研究第 11 卷. 別冊 1. 240 (2011).
- ②日本園芸療法学会 2011 年度大会. 2011 年 10 月 30 日. 長野. 作業意志決定支援ソフト ADOC を参考にした園芸療法技法選択マニュアルに関する一考察. 小浦誠吾. 日本園芸療法学会誌. Vol. 4-Annex. 18-19. (2011).
- ③人間・植物関係学会平成 23 年度臨時大会. 2011 年 9 月 11 日. 東京. 人間と植物, 自然との関係からみた高齢者福祉施設のリスクマネジメントーNBM, 主観的幸福度を念頭においてー. 小浦誠吾・甲斐菜美・妹尾真奈美・竹本萌. 人間・植物関係学会雑誌第 11 巻別冊. 6-7. (2011)
- ④園芸学会 23 年度秋季大会. 2011 年 9 月 25 日. 岡山. 園芸療法高大連携活動の参加生徒の感情改善と医療・介護経費削減にあたる影響. 小浦誠吾・下東義忠. 園芸学研究第 10 巻. 別冊 2. 利 13 (2011).
- ⑤日本園芸療法学会 2010 年度大会. 2010 年 11 月 14 日. 千葉. 意味・目的が明確な園芸作業を活用した高齢者の医療・介護経費削減が可能な介護技術の探求. 小浦誠吾・小川敬之・押川武志・高瀬良太・東健太郎・稲垣智祐. 日本園芸療法学会誌. Vol. 3-Annex. 18-19. (2010).
- ⑥園芸学会平成 22 年度秋季大会. 2010 年 9 月 12 日. 大分. 園芸療法の客観的評価の確認が参加学生の感情改善に及ぼす影響. 小浦誠吾・Steven M. Snyder・押川武志・小川敬之. 園芸学研究第 9 巻. 別冊 2. 328 (2010).
- ⑦Seigo Koura. The Introduction of the Japanese Horticultural Therapy Association. - The status of horticultural therapy around the world: practice, research, education -2010 International People Plant Symposium (10th IPPS) and Canada Horticultural Therapy Association (CHTA) Annual Council. Nova Scotia (Canada), Abstract 6. August 05-09, 2010.
- ⑧ Seigo Koura, Mutsuhide Tanaka, Tohru Sonoda, Steven M. Snyder, Noriyuki Ogawa and Takeshi Oshikawa. *An Initial Study of the Physical and Psychological Effects of Meaningful Horticultural-related Activities with Elderly Persons in Japan*, 2010 International People Plant Symposium (10th IPPS) and Canada Horticultural Therapy Association (CHTA) Annual Council. Nova Scotia (Canada), Abstract 10. August 05-09, 2010.
- ⑨ Oshikawa, S. Koura, N. Ogawa and H. Hirose. Problems associated with wheelchair seating during horticultural therapy. 2010 International People Plant Symposium (10th IPPS) and Canada Horticultural Therapy Association Annual (CHTA) Council. Nova Scotia (Canada), Abstract 24. August 05-09, 2010.
- ⑩人間・植物関係学会 第 10 回記念大会 奈良 2010 年 5 月 23 日 西都原古墳群古墳調査時から花木公園化に関する人間と植物の関係ー古墳調査開始時と近年の写真からの一考察ー小浦誠吾・山内利秋・小川敬之・押川武志. 人間・植物関係学会雑誌第 10 巻別冊. 30-31. (2010)
- ⑪人間・植物関係学会 第 10 回記念大会 奈良 2010 年 5 月 23 日 高齢者の医療・介護経費削減を目指した人間・植物関係のマッピングの試み 小浦誠吾・小川敬

之・押川武志・山内利秋. 人間・植物関係学会雑誌第10巻別冊. 6-7. (2010)

⑫日本園芸療法学会 第2回大会 兵庫
2009年11月15日 園芸療法の客観的評価の確認が参加学生の感情改善に及ぼす影響. 小浦誠吾・豊田正博・Steven M Snyder・押川武志・小川敬之 日本園芸療法学会誌第2巻別冊. 22-23. (2009)

⑬ 2nd International Conference on LANDSCAPE AND URBAN HORTICULTURE - Bologna (Italy), June 09-13, 2009. Utilization of horticultural therapy for elderly persons in the urban environment. S. Koura, T. Oshikawa, N. Ogawa, S.M. Snyder, M. Nagatomo and C. Nishikawa.

⑭ 2nd International Conference on LANDSCAPE AND URBAN HORTICULTURE - Bologna (Italy), June 09-13, 2009. Studies on making community places by flowers that made from PET bottles. N. Ogawa, S. Koura, T. Oshikawa and S.M. Snyder.S.

⑮人間・植物植関係学会 第9回大会 京都 2009年9月13日 NBMに基づいた園芸療法活動に参加した社会人ボランティアの変化. 小浦誠吾・東健太郎・小川敬之・押川武志. 人間・植物植関係学会誌第8巻別冊. P20-21 (2009)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小浦 誠吾 (KOURA SEIGO)
九州保健福祉大学・保健科学部・教授
研究者番号：90310044

(2) 研究分担者

小川 敬之 (OGAWA NORIYUKI)
九州保健福祉大学・保健科学部・教授
研究者番号：50331153

押川 武志 (OSHIKAWA TAKESHI)
研究者番号：50435195
九州保健福祉大学・保健科学部・助教